

施工手順

フレーム組立



パイプフレームを組み立てます。

フレーム設置



パイプフレームの脚部にワイヤーを通し、アンカーピンで地山に固定します。

金網設置

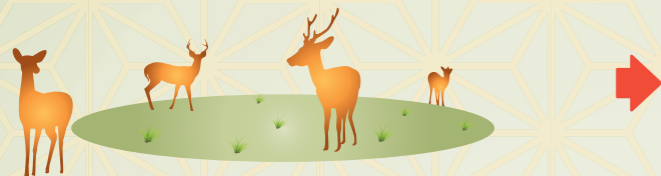


金網を内側・外側、両面に取り付けます。

金網固定



外側金網のスカート部をアンカーで地山に固定します。



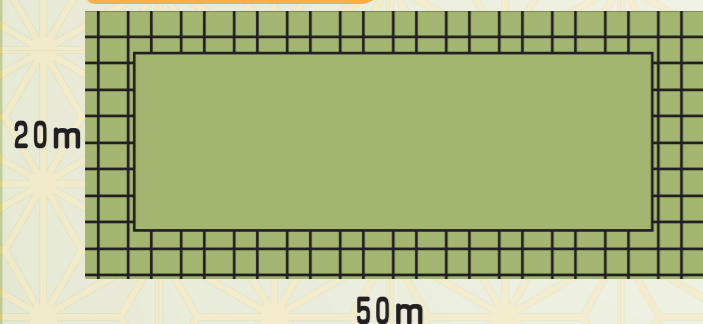
できあがり。

従来型との比較例

(1,000㎡あたり)

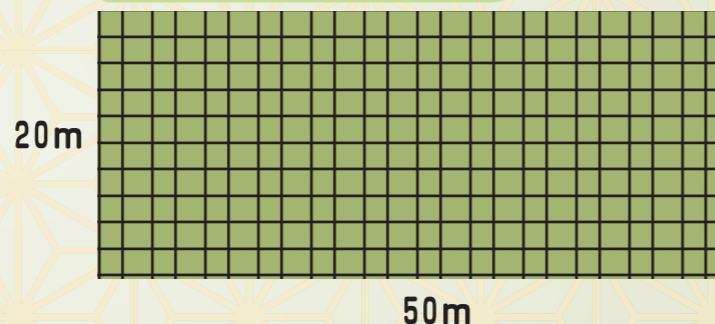
コストを約20%縮減。工期は約60%縮減となります。

シカ矢来の場合



【工事費】
外周140m × 13,000円/m = 1,820,000円
【工事日数】 約4日

他工法(全面施工)の場合

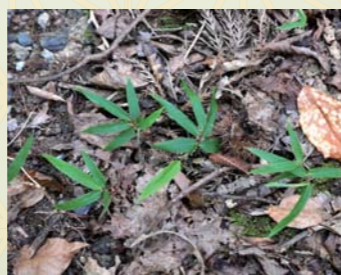


【工事費】
1,000㎡ × 2,500円/㎡ = 2,500,000円
【工事日数】 約10日

※価格は、各自自治体により変わります。

京都大学との共同研究

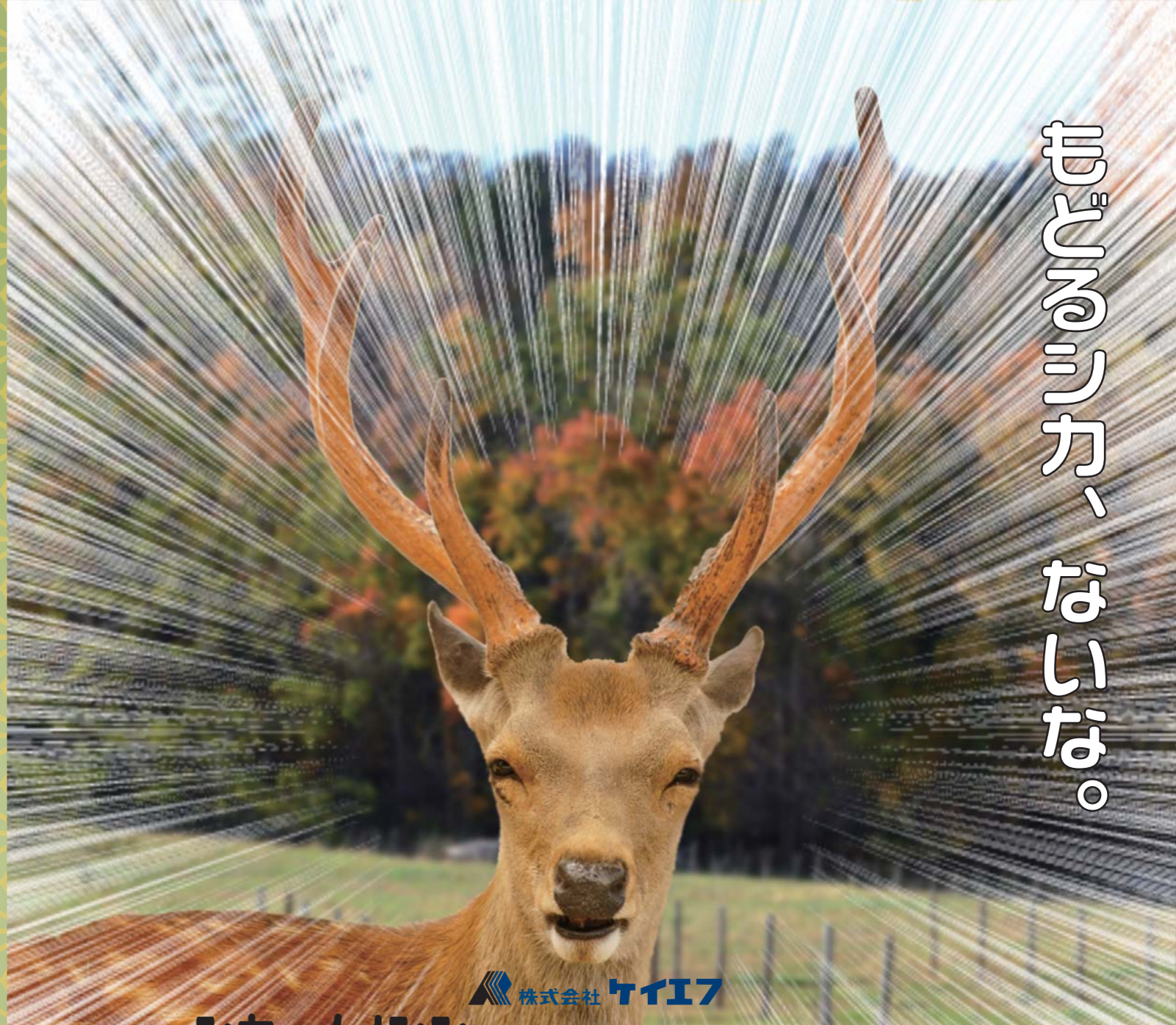
シカ矢来の落石や積雪に対する持久力の確認と、侵入防止効果を確認し、自生するチマキザサ群落の再生を目指した共同研究を実施しています。



取扱店



〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町8丁7-7
TEL 072 (232) 6060 FAX 072 (232) 6008
E-mail info@norimen.com
URL http://www.norimen.com/



もどるシカ、ないな。



法面のシカ・イノシシ 侵入防止資材

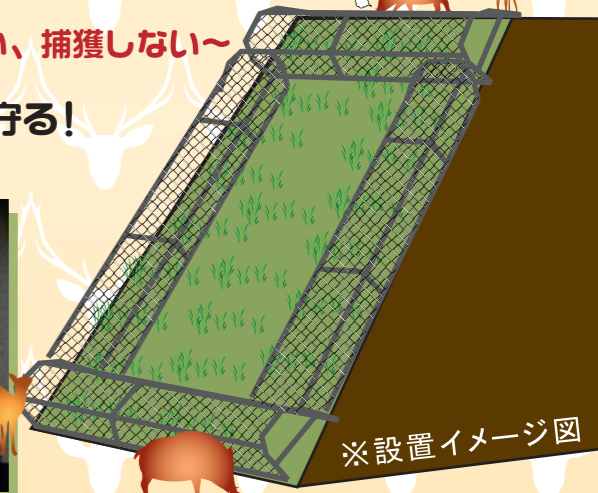
シカ矢来®

～シカ・イノシシを傷つけない、捕獲しない～

京町家で培われた『犬矢来』の文化で緑化法面を守る！
それがシカ矢来です。

犬矢来(いぬやらい)とは
古来より『矢来(やらい)』とは、竹や丸太を組み合わせ柵や垣としたものを言う。
矢来は『遣らい』であり、『入るのを防ぐ』の意である。丸竹を割竹にして密に組み上げると『犬矢来』になる。

出典:『京都府建築士協会 京都だより 2012.12.01』より



※設置イメージ図

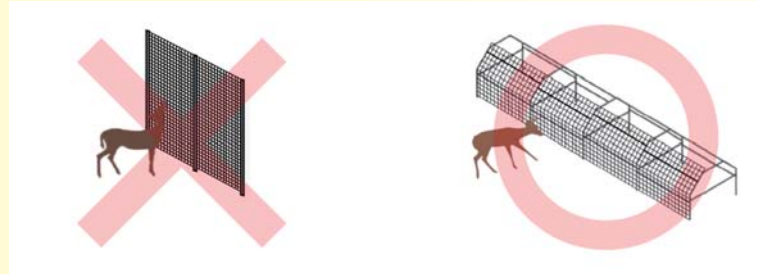
特許第6507584号
NETIS登録番号:
KK-160011-A

シカ矢来の特徴



高さとの幅の立体構造でシカの侵入をブロック！

転倒などの変状の心配がなく、長期的に安定した侵入防止効果を発揮します。



立体構造なので一部が変状しても侵入防止効果を維持！

シカ矢来は外側柵と内側柵の2重構造となっているため、落石・倒木などで一部が変状しても内側が健全な限り侵入防止効果を持続します。



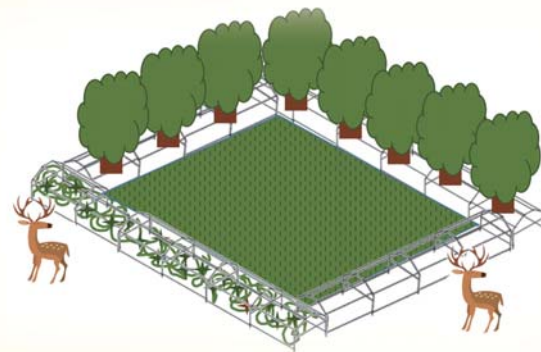
斜面の凹凸に馴染みやすいフレキシブルな構造！

シカ矢来は、斜面の凹凸に馴染みやすい構造で、連結ワイヤーを介して地山に固定するため、立木を避けて設置したり、立木を活かして設置したりと自由自在です。



樹木を活用したハイブリッドな侵入防止柵にも！

シカ矢来の内部に樹木やツル性の有刺植物を生育することで、周辺景観に調和し、より強固な侵入防止柵になります。

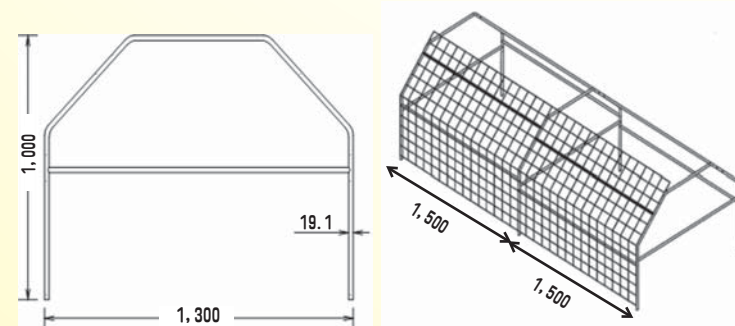


金網資材なのでシカが絡まない！

シカ矢来は、パイプフレームと金網で構成されているので、シカの角が絡む心配がありません。

製品スペック

右のパイプフレームと金網を組み合わせるだけの簡単施工！！



施工前&施工直後（2014年5月）



施工2ヶ月後（2014年7月）



施工7ヶ月後（2014年12月）



雪にも負けず...
鹿にも負けず...



施工1年後（2015年6月）

